

公民館サポートボランティア活動を発表！

11月9日、下野市生涯学習情報センターの新設置と開講に伴い、学習活動クリエイター育成講座の中で事例発表の機会をいただきました。発表者は、野木町公民館サポートボランティア(SVC)の結成の動機、活動経過、運営方針、そして活動の現状と今後の課題などについて話をしました。



ふれあい 第120号

全国公民館 研究集会

第30回の全国公民館研究集会が栃木県を会場に10月11日～12日の2日間にわたり開催されました。全国から約1800名の参加者があり、野木町からも15名が参加しました。分科会では10のテーマに分かれ、全国から集まった参加者による意見交換が行われました。全体会では立松和平氏の講演会が行われました。

農薬や化学肥料を使わず、堆肥や自然の力を用いて作物を育てる農業を「有機農業」といいます。私が有機栽培の稲作を始めたのは15年くらい前からです。「農薬も化学肥料も使わずに

稲が育てられるのか」と誰もが言います。無農薬稲作を始めた当初は失敗の連続でした。有機稲作は除草剤を使わないので、最大の問題は除草です。水田に鯉を放したり、カブトエビで除草をしようと試みたりしましたが、うまくいきませんでした。水田にアイガモを放すアイガモ稲作も行いました。アイガモは水田の虫や雑草を食



いのち育む
有機農業
館野廣幸さん

べ、その糞が肥料になります。しかし、野犬やカラスに襲われるという欠点がありました。いろいろな失敗の中に発見がありました。雑草はいつでもどこでも生えるのではなく発生の条件があること、そして雑草の種類によって発生活性が異なることなどです。現在では、水田に米ぬかをまき微生物や浮草を増やすことで雑草を抑えることができるようになります。

ました。農薬を止めると田んぼにたくさん生き物が戻ってきました。水路には小ふなやドジョウ、空にはトンボやカルガモやサギなど多くのいのちが稲と同時に育っています。

分館から

野木 野木小完成記念 「ふれあいフェスティバル」



野木・野渡地区の住民が野木小の完成を祝い、10月14日に合同のフェスティバルが野木小学校で行われました。

カレーや焼きそばなどの模擬店やアトラクションとして野木小児童の遊戯、野木二中の吹奏楽・和太鼓、大人のよさこいソーラン、野木・野渡對抗玉入れなど多くの催しがステージ上で繰り広げられ、子どもからお年寄りまで地域がひとつになって楽しい一日を過ごしました。特

に、子どもたちは自分たちで模擬店の運営を体験し、ひととき目が輝いていたようです。

(参加保護者より)

玉入れは玉があまり入らなかつたけど、運動会みたいで楽しかったです。6年生が担当したわたあめは作るのが難しそうだったけど、私もやってみたくて思いました。近所のおばあちゃんたちも大勢来ていて、にぎやかな一日でした。

(参加児童より)

友 沼

研修会に参加して



久しぶりに晴天に恵まれた10月4日、町バスを利用して役員委員18名の参加をもって、栃木県防災館へ研修視察に行きました。非常時に備えて防災知識を体験するため、4つのコーナーに入りました。地震コーナーでは震度7を体験し、火災コーナーでは煙迷路を、台風コーナーでは風速70mを、集中豪雨では700ミリの大雨を体験しました。いつ起こるかわからない災害に対して「自分の身は自分で守る」ことを実感し分館を通じて地域の防災意識を広めることができると願い、防災館を後にしました。

佐川野

ウォーキング大会

10月28日、みかも山公園(藤岡町)にて、若林地区21名、佐川野地区68名、川田地区32名、計121名で実施しました。前日は、台風20号で雨でしたが、当日は天高く、雲ひとつない青空でした。現地集合で、遠い方は車で40分の道のり、家族全員で参加していただきました方もいました。残念ながら、山の紅葉

はまだでしたが、参加された方は、弁当・お茶を受け取り、それぞれ思い思いの所に分かれて昼食をとりました。各行事を実施する際には、事前から無事終了できればとの思いでいっぱいです。皆さんの笑顔を見て、残された行事を行っていききたいと思えます。



パソコン・サロン開催中

ボランティアによる初心者を対象としたパソコン相談室を開催しています。

毎月 第2木曜日 13:00~16:00
第3土曜日 9:30~11:30
町公民館 2階 第4研修室

入退室自由で、事前の申込の必要はありません。

サークル

紹介

【おしらせ】

サークル、クラブ紹介してみませんか

公民館、町体育センター、町施設などで活動している団体の方でご希望がございましたら、館報編集委員会事務局までご連絡ください。

☎(57)4188

掲載につきましては、編集委員会で決定させていただきます。



混声合唱団

コールエニス

コールエニスは、今年1月に誕生したばかりの混声合唱団です。ユーモアあふれる山崎岩男先生のご指導の下、美しいハーモニーを目指して練習しています。

9月8・9日には、さいたま文化センターでオペラ「メリーウイドウ」に参加しました。足元のオーケストラピットの前には満員の観客。歌い踊り…素晴らしい体験でした。

今後は、様々な合唱曲にじっくり取り組んでいきたいと思っています。心を合わせハモる楽しさを味わってみませんか。いつでも見学にお越しください。

練習日 第1・3・4日曜日

午後6時～9時

第2火曜日

午後7時～9時

町公民館

連絡先 黒岩 宣子

☎(55)2522



剣友会 剣道部

昭和49年に町の剣道教室として、産声を上げて今年で33年目を迎えます。各大会では上位入賞し、夏の日本武道館で行われる全国大会にも出場しています。

「剣は心なり」を道場訓として週3回の稽古に、元気いっぱいの子・中学生と80歳を迎える先生など、幼年から高齢者まで日々汗を流しています。

夏は暑中稽古、冬は寒稽古と

厳しい稽古もありますが、年中行事の新年会、合宿、バーベキューなどで、心も体もリフレッシュして乗り切っています。皆さんも心と体を鍛えてみませんか。

稽古日 毎週火・木曜日

町武道館

毎週土曜日

野木二中

各午後7時～9時

連絡先

西村 壽雄

☎(55)2628



野木交響楽団



野木交響楽団は、今年7月に産声を上げたばかりのサークルです。楽器が大好きな老若男女12名が毎週楽しく練習を行っています。現在、一緒にやる仲間を募っています。特に弦楽器、打楽器ができる方。初心者やブランクのある方も毎週基本練習から行っていますので、安心して参加してください

音楽とは書いて字のごとく音を楽しむという事です。楽しく練習できる交響楽団を目指しています。興味のある方はぜひ楽器をもって遊びに来てください。

練習日 毎週土曜日

午後6時～10時

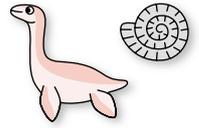
町公民館

連絡先 相馬

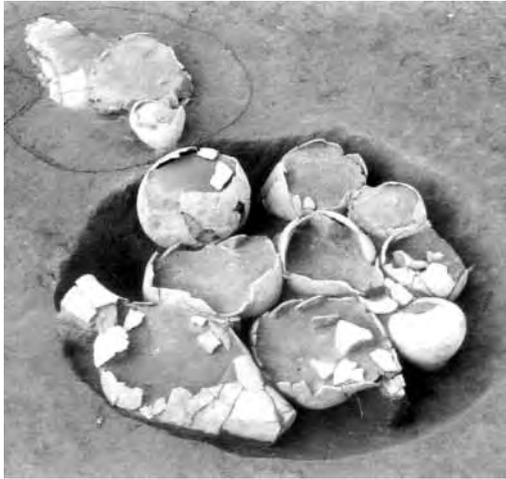
☎090(1503)4462



歴史の散歩道



第4回 清六 遺跡



弥生時代の再葬墓(遺骨を入れたつぼ型土器)



縄文時代草創期の竪穴式住居跡(手前)

「歴史の散歩道」と題しまして「野木町の歴史紹介」(全6回予定)をこのページで特集しています。読者の皆さんといっしょに、楽しみながら、野木町の生い立ちを知っていきたいと思います。

平成5年～6年にかけて思川流域下水道処理施設建設に伴う事前調査として清六 遺跡の発掘調査が行われました。その結果、縄文時代草創期から中世にいたる約1万年前の遺構と遺物が大量に見つかりました。

【縄文時代草創期】
遺物として、尖頭器・石鏃(やじり)・削器・石槍・石斧など17点が出土しましたが、住居跡などの遺構は確認されませんでした。

平成5年～6年にかけて思川流域下水道処理施設建設に伴う事前調査として清六 遺跡の発掘調査が行われました。その結果、縄文時代草創期から中世にいたる約1万年前の遺構と遺物が大量に見つかりました。

土杭跡はつきりしない竪穴状の遺構が4基・土杭5基が確認されました。

住居跡は5・8m x 6・35mの竪穴で柱跡は6本ありました。また住居内からは土器片53個・石製のヤジリ・キリ・サジなど8個が出土しました。石質は黒曜石・ホルンヘルス・チャートなどでした。

竪穴状遺構からは縄文時代早期～晩期にかけての土器片と石鏃などが出土しました。

土杭の内2つには食べた後の貝殻が捨てられていました。その内の一つは、木の実などを貯蔵したフラスコ型の穴に、袋に多量の貝殻を入れて捨てたような状態でした。

遺構以外からはこの時代の遺物として土製垂飾(縦中央に貫通穴をあけ、表面に渦巻き状の模様をつけた飾り物)・縄文草創期の石器17点・早期以降の石器81点(打製石斧・磨製石斧・磨石・石皿・垂飾・石棒)などが出土しました。

【弥生時代】
弥生時代中期には稲作が関東地方にも伝わり、後期には邪馬台国の女王卑弥呼が魏に使節を送っています。この時代に北関東や南東北で流行した再葬墓(埋葬された遺体を掘り起こし、遺骨をつぼ型土器に入れて、再び埋葬した墓)が、19基発見されました。墓からはつぼ型土器・高つき・管玉などが出土しました。再葬墓以外から弥生土器326点・管玉7点が出土しました。遺構は縄文時代・弥生時代とも南西地区にまとまっています。

(軽部重夫 記)

次回は清六 遺跡の古墳時代以降を予定しています。